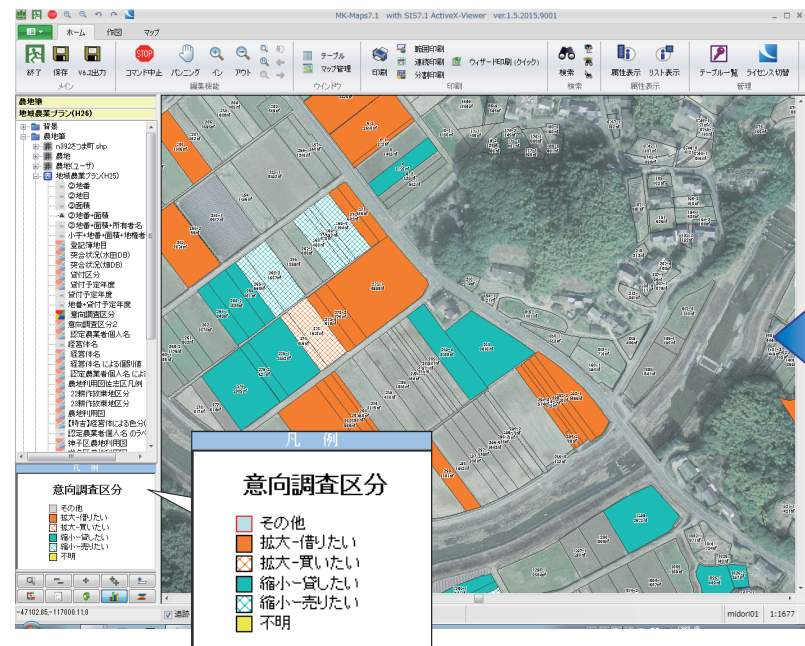


GIS技術で各業務への活用を支援します

事業計画の策定・農地集積に活用



農業経営に関するアンケート

Q1 あなた自身の経営形態を教えてください。

☐ ①個人経営
☒ ②家族経営
☐ ③法人経営

Q2 現在行っている農業について教えてください。(複数回答可)

☒ ①自分の土地で耕作している
☒ ②農地を借りて耕作している
☐ ③農地を貸している (☐ A、地区内の人に貸している ☐ B、地区外の人に貸している)

Q3 今後の経営に対する、あなたの考えを教えてください。(①～⑤から1つ選択して下さい。)

☒ ①規模を拡大したい(拡大したい品目: 水稲 (20 a))

☐ ②農地の買入れ
☒ ③農地の借入れ
☐ ④農作業の受託(受託する作業内容:)
☐ ⑤その他 ()

☐ ②規模を縮小していきたい(縮小したい品目:)

1. 規模縮小後もしくは農業をやめた後は、農地をどのようにしたいとお考えですか。

☐ ⑥売りたい (☐ A、所有地の全部 ☐ B、所有地の一部 (a))
☐ ⑦貸したい (☐ A、所有地の全部 ☐ B、所有地の一部 (a))
☐ ⑧作業を委託したい
☐ ⑨その他 ()

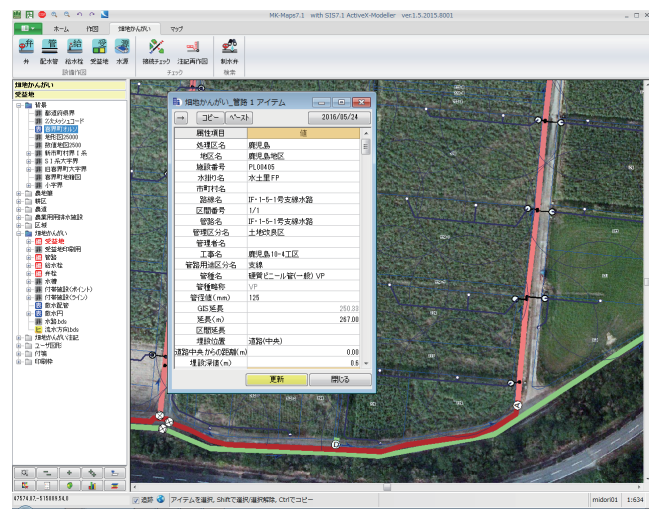
☐ ③すでに農業をやめて、農地はすべて貸している
☐ ④その他 ()

期待される効果

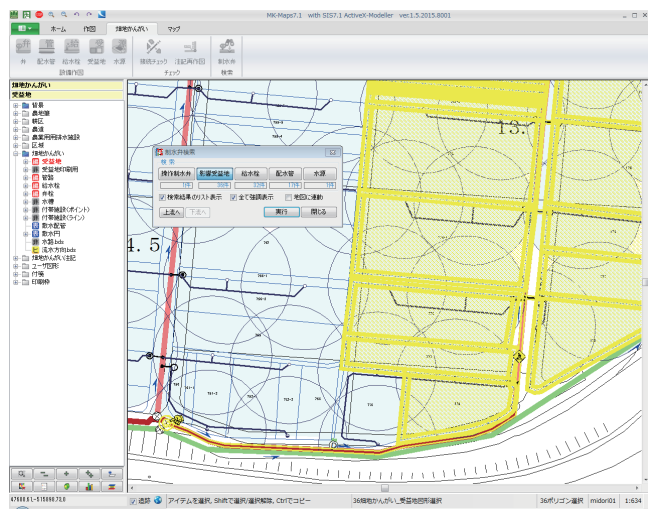
- 農地の所有者、耕作者の意向を地図として可視化することで、事業計画時の同意徴収作業の効率化が期待できます。また、計画変更までの地区の編入除外等の管理も行えます。
- 農地利用集積計画に活用することで、農地利用の最適化が期待できます。

畑地かんがい施設の管理に活用

〔施設の属性確認〕



〔漏水事故時の影響受益地解析〕



期待される効果

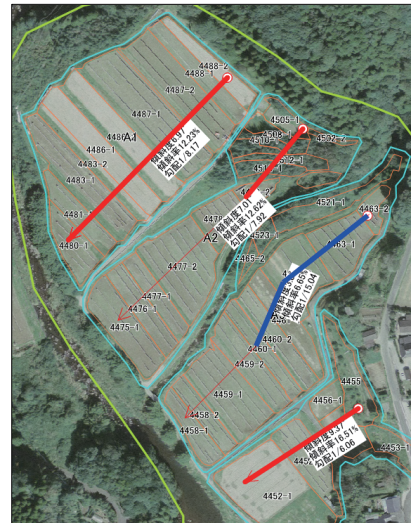
- 畑地かんがい施設を整備し「位置情報」「属性情報」「関連情報」を管理することで施設状況の把握が容易になるため、業務の効率化が図れます。
- 漏水事故時の影響受益地解析等の機能により、維持管理労力の軽減が期待できます。

中山間地域の傾斜度測定に活用

作業の主な内容

傾斜測定

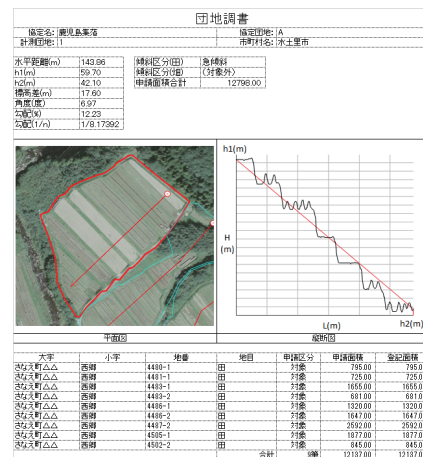
任意のポイントを指示し、それぞれの高さ・延長から角度・勾配・1/nを自動算出できます。



- ※**超急傾斜地**、**急傾斜地**の把握ができます。
- ※これまでの申請勾配との整合を図ることができます。

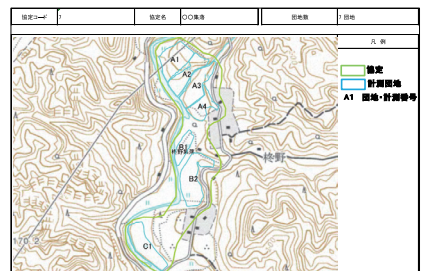
1. 団地調査

計測団地毎に勾配算定計算書として、団地調査をエクセルデータで作成



2. 協定区域図の作成

協定区域の区域及び計測区域を表記した位置図の作成

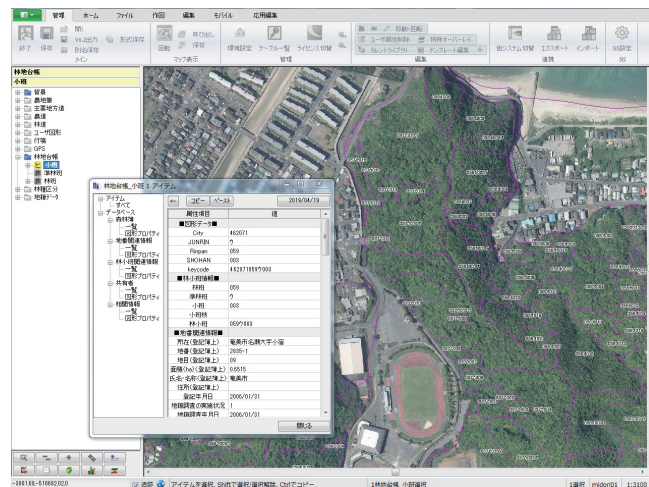


3. 傾斜度測定一覧

傾斜度測定一覽														
協定コード	協定地名	協定団地名	計測団地番号	計測団地ID	面積	団地勾配1/n	区分	超急傾斜		急傾斜		緩傾斜		
7	水土里集落	A	1	水土里集落A1	12,798	8.17	超急傾斜	2	面積計	127,241	1	10,216	1	4,139
7	水土里集落	A	2	水土里集落A2	114,443	7.92	超急傾斜							
7	水土里集落	A	3	水土里集落A3	10,216	15.04	急傾斜							
7	水土里集落	B	1	水土里集落B1	4,139	69.88	緩傾斜							
小計		3		7	141,596									

林地の台帳管理に活用

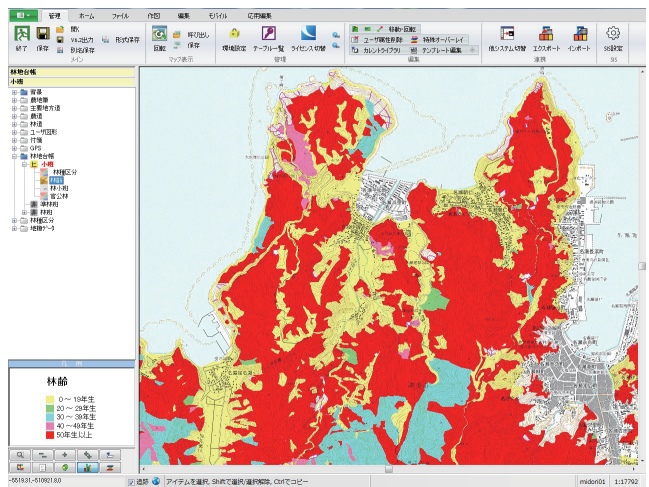
〔地図（小班）の属性確認〕



期待される効果

- 林地台帳及び地図データを一元管理することで、事務の効率化が図れます。
- 自然林・人工林・樹齢といった条件で色分け表示（主題図）することで、データを視覚的に確認することが出来ます。

〔樹齢による色分け（小班）〕



問い合わせは、水土里情報センターまたは最寄りの事務所・支部まで